

ICT×地産地消 ICT×食育

ローカル5G実証ハウスで栽培

NTTアグリテクノロジーズのトマトを給食に

調布市

NTT東日本、NTTアグリテクノロジーズは調布市にあるNTT中央研修センタに設置したローカル5G実証ハウスでトマトを栽培している。このたび地産地消を推進する調布市らと連携し、市内の小中学校の給食食材としてトマトを提供。食育の観点からICTを活用した新しい農業技術の取り組みを学ぶ機会も提供する。

調布市と同市教育委員会、NTT東日本、NTTアグリテクノロジーズ、NTT中央研修センターは、NTTアグリテクノロジーズが同市にあるNTT中央研修センターに設置したローカル5G実証ハウスで栽培したトマトを市内小中学校の給食食材として提供する。生徒たちが新

しい農業技術の取り組みを学ぶ機会も提供する。その一環として16

日（火）、市内の若葉小学校の給食食材としてトマトを使った。同市では、市内で栽培された食材を活用することで地産地消につなげたいとしている。同市は地産地消を進める「S&A（スクール&アカデミー）」を展

開しており、各学校では近隣農家から提供されたキャベツ、ジャガイモ、ネギ、ニンジンなどの野菜を給食食材として活用している。若葉小学校に提供されたトマトは、ミネストローネに使われた。それに加えて、6年生には小玉トマトも付いた。トマトは当日の朝収穫したものだ。トマトは他校でも使用予定だという。若葉小学校の生徒からは食後の感想として「すごく甘くておいしかった」「思ってたよりも大きかったけ

れど、濃厚でおいしかった」「つやがあった」「みずみずしかった」

「農家をやる人が減っている」と聞いているので、栽培に技術が生かされていてすごいと思う。などの声が聞かれた。



給食時間の風景（若葉小学校6年生、16日）

『電経新聞』2021年11月22日付1面